

中間検査チェックシート B表(基礎工程)

※工事監理者は、太枠内のみ記入すること

検査項目	照 合 内 容		工事監理者	検 査 記 録		
				A:目視検査 B:実測検査 C:監理者報告	結果	修正
1	基礎概要	ア	種別の確認(独立、連続、ベタ、杭、地盤改良等)	A : B : C	適・否	
		イ	支持地盤の確認	A : B : C	適・否	
2	使用材料	ア	鋼材の種類	A : B : C	適・否	
		イ	コンクリートの種類、配合	A : B : C	適・否	
3*	基礎構造体の確認	ア	形状・寸法	A : B : C	適・否	
		イ	鉄筋の径、本数、配置等	A : B : C	適・否	
		ウ	継手の位置、定着長さ、補強筋の緊結(フック)等	A : B : C	適・否	
		エ	かぶり厚	A : B : C	適・否	
		オ	耐圧版の厚さ	A : B : C	適・否	
4*	基礎構造体の確認	ア	全体形状及び部材配置	建築物の平面形状	A : B : C	適・否
			柱、地中梁等の配置	A : B : C	適・否	
		イ	ベース	部材の形状・寸法	A : B : C	適・否
				主筋の径、本数、配置	A : B : C	適・否
		ウ	耐圧版	かぶり厚さ	A : B : C	適・否
				主筋及び配力筋の径、配置等	A : B : C	適・否
				耐圧版の厚さ	A : B : C	適・否
		エ	柱	かぶり厚	A : B : C	適・否
				部材の形状、寸法	A : B : C	適・否
				主筋の径、本数、配置	A : B : C	適・否
				継手位置、定着長さ、フック	A : B : C	適・否
		オ	地中梁	帯筋の径、配置等	A : B : C	適・否
				かぶり厚	A : B : C	適・否
				部材の形状、寸法	A : B : C	適・否
				主筋の径、本数、配置	A : B : C	適・否
				中吊り筋(2段筋)の位置	A : B : C	適・否
				継手位置、定着長さ、フック	A : B : C	適・否
		カ	圧接継手	あばら筋及び幅止め筋の径、配置等	A : B : C	適・否
				貫通孔の補強筋	A : B : C	適・否
		キ	型枠	かぶり厚	A : B : C	適・否
継手の位置	A : B : C			適・否		
圧接部の外観、ふくらみ	A : B : C			適・否		
ク	その他	各部分の寸法	A : B : C	適・否		
		せき板、支保工等の設置状況	A : B : C	適・否		
		型枠内の清掃、異物の除去	A : B : C	適・否		
		差し筋の設置状況	A : B : C	適・否		
5	杭基礎	ア	杭芯位置の確認	A : B : C	適・否	

		イ	杭の種別、径、長さ、本数等	A : B : C	適・否
		ウ	継手の溶接状況	A : B : C	適・否
		エ	杭頭のレベル、偏芯等の確認	A : B : C	適・否
		オ	杭周充填液等の配合、強度試験	A : B : C	適・否
		カ	場所打ち杭の掘削孔径、深さ等	A : B : C	適・否
		キ	場所打ち杭のかご鉄筋の仕様	A : B : C	適・否
		ク	場所打ち杭のコンクリートの配合、強度等	A : B : C	適・否
		ケ	支持層到達の確認	A : B : C	適・否
		コ	杭芯ずれによる補強筋の追加	A : B : C	適・否
6	地盤改良工事	ア	施工範囲、改良厚等	A : B : C	適・否
		イ	改良剤の添加量	A : B : C	適・否
		ウ	埋戻し、転圧状況	A : B : C	適・否
		エ	改良地盤耐力の確認	A : B : C	適・否
		オ	柱状改良の位置の確認	A : B : C	適・否
7	地業工事等	ア	栗石、砕石等の敷き均し・転圧	A : B : C	適・否
		イ	埋戻し土の転圧	A : B : C	適・否
8	その他	ア		A : B : C	適・否
		イ		A : B : C	適・否
		ウ		A : B : C	適・否
		エ		A : B : C	適・否
		オ		A : B : C	適・否
		カ		A : B : C	適・否
		キ		A : B : C	適・否
		ク		A : B : C	適・否

※ 工事監理者は、工事監理者欄に検査結果の適否を記入し、中間検査申請書と同時に提出すること。
 なお、否となった事項については、それに対する措置等を下記に記入すること。

工事監理者への 指摘事項	中間検査	合格・不合格・合格保留	後続工程	可・不可	工事監理者名(検査立会者)

※ 鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造及びプレキャスト鉄筋コンクリート造の建築物については、基礎構造体の確認欄は4に記入することとし、3は記入不要とする。

補強コンクリートブロック造及び組積造については、基礎構造体の確認欄は3に記入することとするが、必要に応じて4欄の該当項目についても記入すること。